

こんしゅう めざ  
今週のことば「目覚める」

せいしょ ふくいんしょ  
《聖書》マタイによる福音書 24:37-44

もくじぶんがく  
黙示文学

もくじぶんがく きげんぜん ねん きげん  
黙示文学は、紀元前165年から紀元  
ごねんご か よく  
後90年頃にかけて書かれたもので、抑  
あつ ごうもん し けいとう はくがい なか さか  
圧・拷問・死刑等の迫害の中で盛んにな  
りました。

ないよう よお こと かん  
内容としては、世の終わりの事に関する  
とくべつ ひぎ の そり  
特別な秘義について述べています。創  
ぞう お ときいた うちゅう たい  
造から終わりの時に到るまでの宇宙に対  
する神の目的を述べながら、正しい人た

らか よお  
ちが近づきつつある世の終わりのしるし  
を識別し、清い信仰を確立する事を助け

よお しそり  
ました。この世の終わりの思想は、ユダ  
いん しゅうり い ほうじん せいふく こと ちゅう  
ヤ人が勝利し異邦人が征服される事を中  
しん みらい びょうしゃ こと なかま  
心に、未来を描写する事によって仲間を  
げきれい こと もくべき  
激励する事を目的としていました。

もくじぶんがく ひょうげん しゅうちゅう  
默示文学の表現には象徴（しるし）が

つか に げんろんてき せかいかん ちゅうえつてき  
使われ、二元論的世界觀・超越的メシア  
かん えが しご せい  
觀が描かれています。さらに、死後の生  
めい しんこう かみ しんばん くだ しゅ ひ  
命の信仰や神の審判が下される主の日に  
の  
について述べられています。

めざ  
目覚める

じしん よお  
イエス自身はこのような世の終わりに  
はな ひてい こと  
についての話しを否定する事はしていません  
ひく  
んが、その日がいつ来るかについては、  
かみ こた  
神しかわからないと答えています。そして、  
いまひつよう こと みな めざ こと  
て、今必要な事は皆が目覚めている事だ  
しゅちょう しょうらい こと  
と主張しています。つまり、将来の事ば  
ゆめみ げんじつ み  
かり夢見ないで、もっと現実を見つめろ  
でし  
と弟子たちをいましめています。

げんだい わたし こと  
これは現代の私たちにもあてはまる言  
は たんじょう ま  
葉です。ただイエスの誕生を待つのではなく、  
けんじつ み めざ ひつ  
もっと現実を見つめ、目覚める必  
よう  
要があります。

たいこうせつだい しゅじつ ねん たきの  
待降節第1主日A年（滝野）